

当社は、福島第一原子力発電所の多核種除去設備等処理水(ALPS処理水)の取扱いについて、2021年4月に決定した政府の基本方針を踏まえ、地域の皆さま、関係者の皆さまのご意見をお伺いしながら、安全確保のための設備の設計や運用等の具体的な検討を進めてまいりました。2021年12月21日、ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設の基本設計等について、「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画変更認可申請書」を原子力規制委員会に申請しておりましたが、本日、原子力規制委員会から認可をいただきました。

これまで、ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設の設計、設備及び保安、並びにALPS処理水の海洋放出に係る放射線影響評価報告書等については、審査会合等でいただいた原子力規制委員会からのご指摘事項、また国際原子力機関（IAEA）からのご指摘事項等を真摯に受け止め、実施計画の補正申請に反映してまいりました。

引き続き、IAEAのレビュー等に真摯に対応するとともに、実施計画に基づく安全確保や、人と環境への放射線影響など科学的根拠に基づく正確な情報の国内外への発信、放射性物質のモニタリング強化等、政府の基本方針を踏まえた取り組みをしっかりと進めてまいります。

あわせて、ALPS処理水の取扱いに関する当社の考えや対応について説明を尽くし、継続して皆さまのご懸念やご関心に向き合い、一つひとつお応えしていくことで、多くの方に廃炉の取り組みへのご理解を深めていただけるよう、全力で取り組んでまいります。

<2022年7月22日 お知らせ済み>